

21世紀COE シンポジウム報告書

理学研究科 白川英二

名 称：第2回京都大学有機化学系COE合同シンポジウム

「精密有機合成の多様性と展望」

世話人：京都大学大学院理学研究科化学専攻（斉藤COE）白川 英二

京都大学大学院工学研究科材料化学専攻（小久見COE）近藤 輝幸

場 所：京都大学桂キャンパスBクラスター桂ホール

日 時：2006年12月15日（金）10:00～17:30

参 加 者：大学院学生、学生、博士研究員、教員

参加者総数：60名

シンポジウム内容：演者と演題は以下の通りである。

藤原哲晶（京大院工）

柔軟ならびに剛直な dendrimer を組み込んだ均一系分子触媒の開発

西村貴洋（京大院理）

ロジウム及びイリジウムを触媒とするジエン類の高選択的ヒドロアリール化反応

吉田拓人（広大院工）

アラインの求電子的カップリングに基づく元素間 σ 結合挿入反応および三成分連結反応

中尾佳亮（京大院工）

不飽和化合物のカルボシアノ化反応

林 良雄（京都薬科大）

微小管を標的とした抗がん剤の生物有機化学研究と化学薬剤学的展開

俣野善博（京大院工）リンを含むポルフィリノイドの合成

伊丹健一郎（名大物質科学国際研究センター）

有機建築化学をめざした分子触媒の創製

本シンポジウムは京都大学化学系の二つのCOE、すなわち京都大学化学連携研究教育拠点（斉藤COE）および学域統合による新材料科学の研究教育拠点（小久見COE）間の連携を深めつつ、精密有機合成の様々な局面について討論することを目的に企画された。二つのCOEに所属している研究グループの他、名古屋大学、広島大学、および京都薬科大学から、第一線で活躍する若手の講師を招いて開かれた。2006年7月のシンポジウムに続く、第2回目のシンポジウムであり、第1回目と同様に、単に研究成果を紹介していただくだけではなく、どのように考えながら研究を進めているかについても率直にお話し頂いた。有機化学の様々な分野の話題が提供され、精密有機合成の多方面への広がりを認識することができた。また、学生からも数多くの質問がなされ、講師の先生方も丁寧に応えて頂けたので、学術面のみならず教育面においても有意義なシンポジウムとなった。